

2023年度 学校を核とした地域づくり講座第3回(10/21)
ふりかえりシートまとめ

これまでPTA活動に関わり、忙しい時間をやりくって参加するのは大変でしたが、活動を通じて学ぶことが多く大人になってもまだまだ成長できるんだなと感じました。
PTA 活動の見直しは必要だなと感じます。学校をサポートすることが子どもたちの為になる！この基準を大切、具体的に考えたいです。

PTAの位置づけの再定義を、CS(コミュニティ・スクール)を前提に考え直す必要を感じました。参加の任意性の重要性の一方で”頼まれないと参加しない→参加して成長”という道もあり、そこも考えていくと面白いと気づきました(任意だと多様な人材が集まらない)。

PTAの活動を子どもたちのために元気な活動にしていきたいと思います。

楽しみながら、当事者も一緒に知らない子どもの一面が見れる。PTA が元気にやっている、地域も元気に。楽しそうにやっている大人の姿を、子どもに見せてやる。

丹波市の教育現場、時に中学校の先生が大変に思えます。CS(コミュニティ・スクール)を中学校に広げたい。

もっと学校を知らないといけない。コミスク(コミュニティ・スクール)・PTA が地域(保護者)へ広報する必要があるのでは。

市PTAの事務局をしている立場として、今一度PTAの在り方を見直す機会となりました。

こんなにもCS(コミュニティ・スクール)があたりまえになっている、丹波市に関心しました。今度とも参考にしていきたい。

現状のPTAの実態がわかった。学校、PTA、CS(コミュニティ・スクール)の協力で、子どもを中心とした活動が求められる。

自分には子どもがいなくてPTAに関わる事がなかったので、PTAを知る機会をいただきありがとうございました。本来はPTA=CS(コミュニティ・スクール)であるべきだったんだなと思えました。

<p>丹波市ではまだ PTA が機能しているようなので、今のうちに CS(コミュニティ・スクール)とのコラボなど、手を打てることが多いような印象を持ちました。</p>
<p>地域で活動・活躍されている方と出会う場で、元気をいただきました！自分が正しいと思っているけど、周りがあまり興味を持ってもらえない活動やプロジェクトがある中で、「必要だよ」と共感し合える方々と話せる場になっています。元気で活発な楽しそうな先輩方が、丹波にいるんだということが希望になります。</p> <p>神戸市では、地域のつきあいが希薄で PTA も壊滅的だということで、丹波は田舎ならではの「地域全体が家族」のような雰囲気はまだ残っているからこそ続いているだろうと感じます。</p> <p>やりたい人がやればいいと思うものの、やりたいと思っている人の発掘が難しいんだなあ」とPTAの方の話を聞いて思いました。</p>
<p>このままではPTAの存続があやぶまれる時代になるということに驚いた。役員が楽しめる、子どもが楽しめる新しいPTAの形が、今求められていることが分かりました。</p>
<p>丹波市の皆さんのパワーと元気をいただきました。神戸やわが街とはあまりにも違っていつも感動しています。</p>
<p>自分が取り組んでいるコミスク活動の方向性が、間違っただけではなかったと思えるお話でした。いろいろな立場や考えや環境の方々を、同じ方向に向かわせていくことがとても難しく思えますが、少しでも地域の学校が良くなり、そこに居場所を見つけれたり、生きがいや地域で生活する価値、自信などが得られるようになればいいなと思いました。</p>
<p>保護者全員がわけへだてなく、学校との関わりを持っていただくことが大切だと思います。保護者一人ひとりがどんなことを考え何に困っているのかを、保護者間で共有していただき、学校と思いを同じにして課題解決に取り組めればと思います。</p>
<p>地域とPTAのつながりが必要だということの確信をもつことができました。ありがとうございました。</p>
<p>PTAに関わる人は楽しみながら取り組む。学校運営に保護者の意見を反映させるCS(コミュニティ・スクール)。</p>